

広島大学マスタース主催 国内研修旅行へのお誘い  
西条酒造施設群 20 世紀遺産 20 選記念 (ICOMOS ISC20C)  
－有田・八女の歴史的景観と文化を巡る－

【趣 旨】「西条酒造施設群」は、「20 世紀遺産 20 選」に選ばれました。19 世紀には存在し、20 世紀に産業として充実・発展したことの選定基準を満たしたことが評価され、窯業の有田と共に、酒造業で選ばれました。これを機に、東広島の歴史的・文化的価値のある建造物（群）の価値を見直し、その「景観」を守り・育て未来に伝えたいと願っています。賛同される市民も多いと思われます。そこで、学びの場として、福岡県八女市の黒木地区「国の重要伝統的建造物群保存地区」および、佐賀県有田町の文化的景観/町並、産業・文化施設群を訪ねたいと考えました。併せて、嬉野温泉、呼子のイカ料理など、観光も十分楽しめる研修旅行を企画しました。

なお、研修旅行終了後、経験を踏まえて、東広島市民を対象に、シンポジウム等の開催を予定しています。

旅行期日：2018 年 1 月 8 日（木）～9 日（金）（1 泊 2 日）

【1 日目】

博多駅集合／貸切バスにて	09:10	出 発
八女市黒木（伝統建造物群視察：景観条例施行）	10:50～12:15	
グリーンピア八女（昼食）	12:30～13:20	
九年庵（庭園公開）	14:40～15:50	
嬉野温泉	16:45	到 着
宿泊費ホテルにて夕食交流会	18:30～	

宿泊施設：『ホテル桜』 TEL (095) 828-1211

散策にも便利な嬉野温泉街の中心です。眺望も楽しめる最上階の展望大浴場、屋上ならではの開放感の露天風呂。嬉野を癒～ったり愉しめるリゾートホテルです。

## 【2日目】

ホテル出発	09:00	出発
有田町（伝統建物群視察：景観条例検討中）	09:35～11:00	
呼子：名護屋城博物館	12:10～13:20	
呼子：活いか料理「玄海」（昼食）	13:30～14:20	
曳山展示場／唐津神社	14:35～15:15	
博多駅到着（解散／各自帰路へ）	16:30	到着

※ 博多駅まで新幹線を利用してお越しの場合、利用者により（ジパング倶楽部やJR会員など）様々な割引キップの購入方法が想定されるため、博多駅へは各自集合、また、解散後の交通機関は各自手配とさせていただきますのでご了承ください。

## 【研修旅行参加費用】

ホテルを1名1室でご利用の場合 @ 44,000円

ホテルを2名1室以上でご利用の場合 @ 39,000円

参加費には、博多駅からの交通費（ガイド付き貸切バス、有料道路）、宿泊・食事代（昼食2回、夕食1回・朝食1回）、入場料、旅行災害補償（自宅出発・帰宅まで補償）などが含まれます。

※車中および嬉野温泉での夕食交流会時の飲み物や個人的費用は自己負担となります。

参加希望の方は、手配依頼エージェント『（株）日本トラベルサービス』 担当：堀川まで下記の方法でお申し込みください。

FAXで返信の方は「申込書」に（チェック☑）し、FAX:(082)424-1322 まで

eメールで返信の方は右記アドレス [tabi@joy.ocn.ne.jp](mailto:tabi@joy.ocn.ne.jp) まで返信をお願いいたします。

企画・主催：広島大学マスタース 担当：渡部和彦 [kazuwp@hiroshima-u.ac.jp](mailto:kazuwp@hiroshima-u.ac.jp)

受託・手配：（株）日本トラベルサービス 〒739-0016 東広島市西条岡町10-19

TEL:(082)424-1333 FAX:(082)424-1322 担当：堀川秀則

## 黒木の古い町並み

黒木地区は福岡県筑後地方の南東部に江戸期以降の重厚な町家や蔵が旧往還道(旧豊後別路)沿いに残るとともに、矢部川の堰や木橋、町中を流れる水路、矢部川対岸の棚田や石積みなどの水利にまつわる文化遺産が、我が国にとって価値が高いと評価され、全国で85番目の国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。町並みは、明治後期から大正期にかけて洋風建築もみられるようになり、時代の波によってクライマックスを迎えました。



## 伝統的建造物群保存地区

有田町では平成3年4月30日に「有田町有田内山伝統的建造物群保存地区【製磁町】」として選定されました。広さ15.9ha、泉山の「上の番所」跡から岩谷川内の「下の番所」跡までを対象としています。範囲内の159軒を「伝統的建造物群」に、石造物やトンバイ堀の130軒を「環境物件」に指定しています。(2012年1月現在)ここは、江戸時代にはじまった磁器生産の中心地で「内山」と呼ばれていました。江戸時代から昭和初期の和風・洋風の建造物が存在しています。



## 九年庵

国の名勝指定(平成7年)佐賀の大実業家、伊丹弥太郎が明治25年に造った庭園と別荘。春の新緑の時期と秋の紅葉の時期のみ一般公開。



## 名護屋城博物館

佐賀県立名護屋城博物館は、特別史跡「名護屋城跡並びに陣跡」の保存整備事業と、文禄・慶長の役(壬辰・丁酉倭乱)及び日本列島と朝鮮半島との長い交流の歴史を調査・研究・展示紹介し、日韓の学術・文化の交流拠点となることを目的として平成5年10月に開館しました。



## 曳山展示場

唐津くんちの曳山行事を含む「山・鉦・屋台行事」のユネスコ無形文化遺産登録が決定しました。唐津っ子の産土神である唐津神社の秋祭は、築城前の古くから行われていました。町人衆の篤い敬神の誠は、文政二年(1819年)刀町の赤獅子の奉納に現われ、以来明治九年までの五十七年間に十五台の曳山が次々と奉納され、これらの貴重な町人文化の遺産は、幾多の苦難に耐えて守り継がれ、曳き続けられてきました。豊穰の秋祭「唐津くんち」は、毎年11月3・4日に行われていますが、2日の夜は宵曳山と呼び、14台の曳山は飾り提灯に彩られ、万燈に映える金銀丹青も鮮やかに華麗なる巡行が展開されます。

